

令和6年10月10日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

名護東道路延伸(本部方面)の計画について 皆様のご意見をお聞かせください

名護東道路延伸(本部方面)では、計画段階評価^{※1}の手続きに入っています。地域の方や道路を利用されている方、観光客の方のご意見を道路計画に反映するためのアンケート調査及びヒアリング調査を行います。

また、当該地域は多くの観光客が訪れる地域であることから、観光立国の推進に資する道路の検討を進めてまいります。^{※2}

※1: 計画段階評価の手続きとは…、道路建設等の公共事業を行う上で、多くの皆様のご意見をもとに事業の方向性を定める手続きのことです。

※2: (参考) WISENET2050 観光立国の推進 https://www.mlit.go.jp/road/wisenet_policies/

○調査期間: 令和6年10月11日(金)～12月27日(金) (予定)

○調査内容: 沿線住民や沖縄県民、観光客等を対象に、対応案(ルート帯案)を検討していく上で、重視する項目や配慮する項目について意見を把握するために実施

○調査対象・実施区分:

調査区分	対象	実施方法	実施期間 [※]
アンケート調査	名護市、本部町、今帰仁村(沿線地域)にお住まいの方	全戸に直接配布により実施	11/11～12/27
	観光客、地域にお住まいの方	大型商業施設や観光施設での対面アンケートを実施(別紙参照)	11/3、11/17
	道路利用者、観光客	WEBアンケートを実施	10/11～12/27
ヒアリング調査	関係自治体や関係団体、沿線事業者など	訪問等によりインタビュー形式のヒアリング実施	11/1～12/27
オープンハウス	観光客、地域にお住まいの方	大型商業施設や観光施設にブースを設置し意見聴取を実施(別紙参照)	11/16

※ 作業の状況により実施期間が前後する場合があります。

【問い合わせ先】 内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所

副所長

采須 二めす
後彦 とうひこ

【担当】 調査課長

内間 うちま
やすじ

TEL 0980-54-2744 (受付時間: 平日 9~17時)

URL <https://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/>

アンケート調査・オープンハウス 実施箇所・日時一覧表

市町村名	施設名	実施箇所	アンケート調査 実施日時	オープンハウス 実施日時
名護市	イオン名護店	1F フードコート横	11月17日 9時～18時	11月16日 13時～16時
	道の駅許田	道路情報ターミナル	11月3日 9時～18時	11月16日 13時～16時
本部町	海洋博公園	中央ゲート付近	11月3日 9時～18時	11月16日 13時～16時
今帰仁村	今帰仁城跡	チケット売場付近	11月3日 9時～18時	11月16日 13時～16時
	今帰仁の駅そーれ	入口付近	11月3日 9時～18時	11月16日 13時～16時

オープンハウス 実施箇所位置図





名護東道路延伸(本部方面)の計画に関するアンケート調査 第2回 アンケート調査

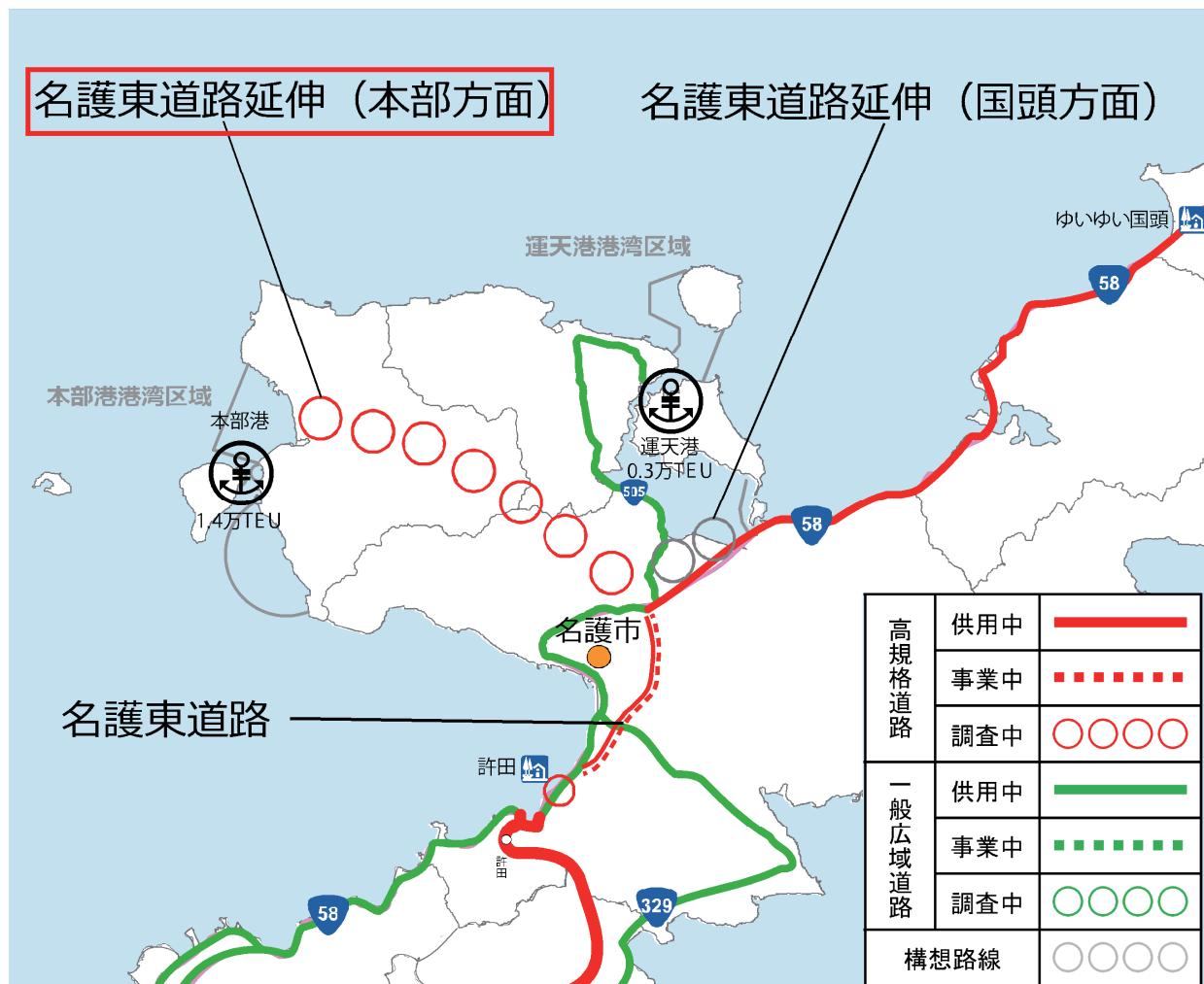
みなさまのご意見をお聞かせください

現在、内閣府沖縄総合事務局では、名護東道路延伸(本部方面)の道路の計画検討を行っております。

今回のアンケートは、本部半島周辺の道路(名護東道路、国道58号、国道449号、国道505号、県道84号線など)について地域の皆様のご意見を伺い、皆様の生活に役立つ改善の検討をさせていただきたいと考えています。

つきましては、アンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。また、結果につきましては、集計してホームページ等で公表させていただきます。

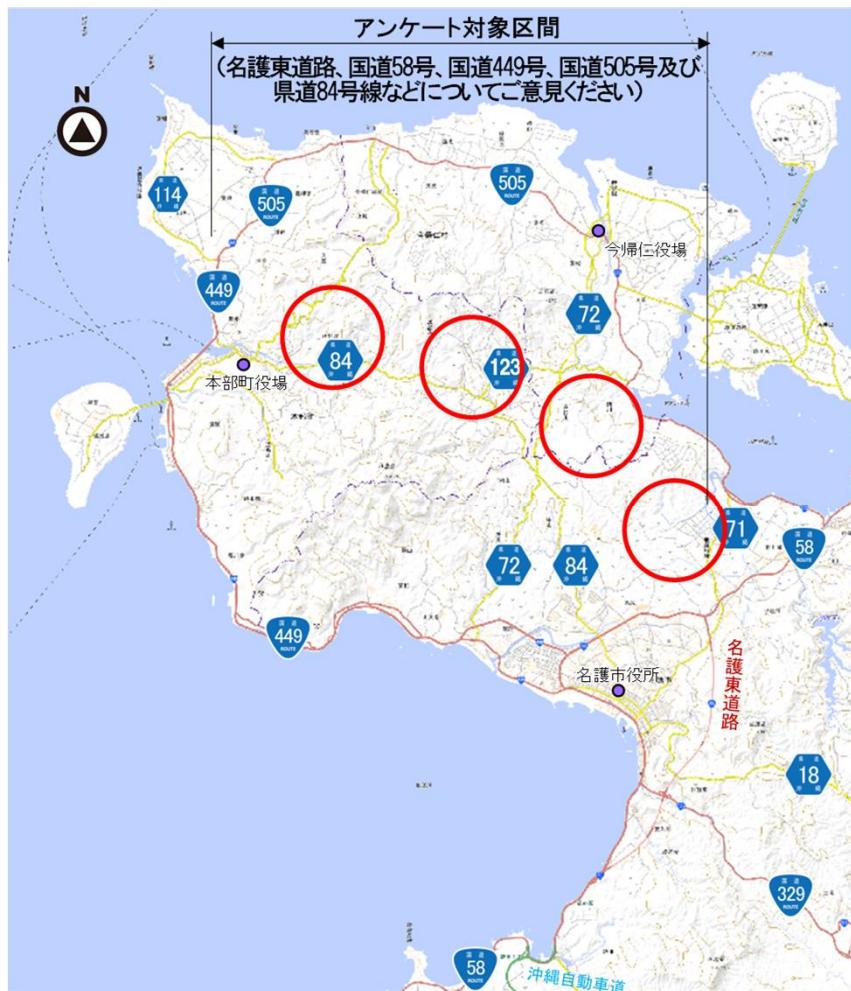
検討位置図



※本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報は、ほかの目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。

名護東道路延伸（本部方面）の計画に関する アンケートご協力のお願い

▼名護東道路全体図



名護市・本部町・今帰仁村にお住まいの皆さんへ

この度は、名護東道路延伸（本部方面）の道路計画の検討にあたり、計画づくりの初期段階から皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画へ反映していく取り組みとしてアンケート調査を実施することとなりました。

対象地域は**名護市と本部町と今帰仁村の全世帯**が対象となり、アンケート用紙は郵送にて配布致します。なお、調査結果は統計的に処理し、住所や氏名等の個人情報が特定されることはありません。

調査結果は、集計・とりまとめ後、沖縄総合事務局のホームページ等で掲載する予定です。

～アンケート記入にあたってのお願い～

- 1) 11月上旬以降に郵送されるアンケート用紙によりご回答ください。
- 2) 世帯のうち、代表の方（1名）がご回答できます。（世帯主である必要はありません）
- 3) ご記入の際は、裏面の「よくあるご質問」をお読みいただきますよう、お願いします。
- 4) 調査票は、令和6年12月27日までに郵便ポストに投函いただきますようお願いいたします。
- 5) QRコード（右下）読み込みによりスマートフォンでもご回答いただけます。
- 6) 一人につき一回のみご回答をお願いします。

本調査に関する問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 担当：調査課
〒905-0019 沖縄県名護市大北4-28-34
TEL:0980-54-2744 (受付時間：平日 9~17時)



よくあるご質問



回答は誰がすればいいの？



ご世帯の代表の方にご回答をお願いいたします。
1世帯あたり1枚の回答票をお送りしております
ので、代表者1名がご回答いただけます。



この調査は何の役に立つの？



本部半島（名護市、本部町、今帰仁村）の地域・
交通の問題点を把握し、道路等を計画するための
貴重なデータとなります。
ルート・構造などを考えるうえで欠かせない調査
ですので、ご協力をお願いいたします。



個人情報が漏れたりしない？



このアンケートの結果は、今回の計画段階評価手
続き以外には用いません。また個人が特定される
ようなかたちでの公表も行いません。
ぜひお一人お一人のご意見をお聞かせください。



WEBと郵送、どちらで回答すればいい？

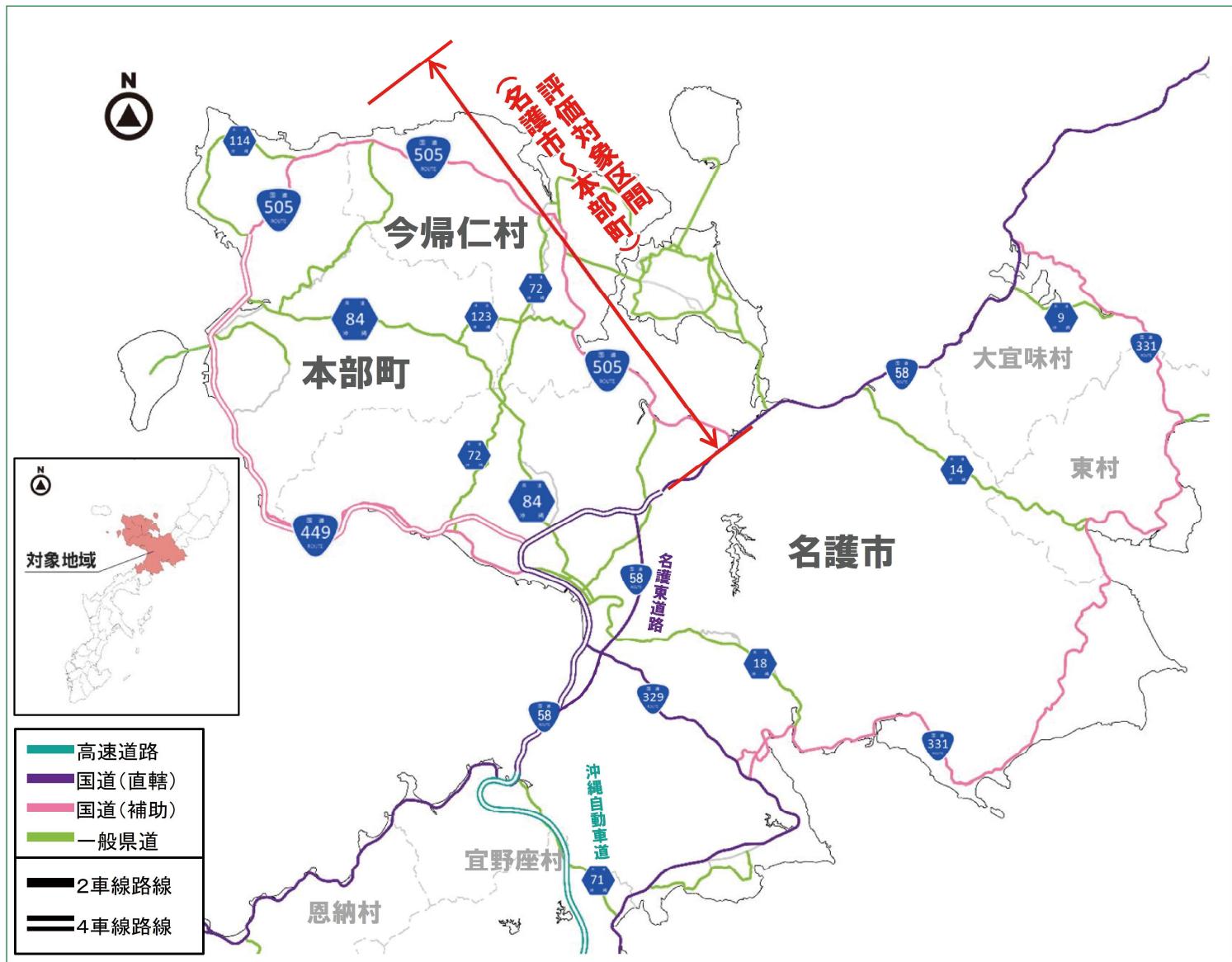


どちらでも構いません。ただし、お一人様につき
いずれかの方法による1回のみの回答とさせてい
ただきます。

その他詳しいお問合せは、
下記のお問合せ先までお願いします。

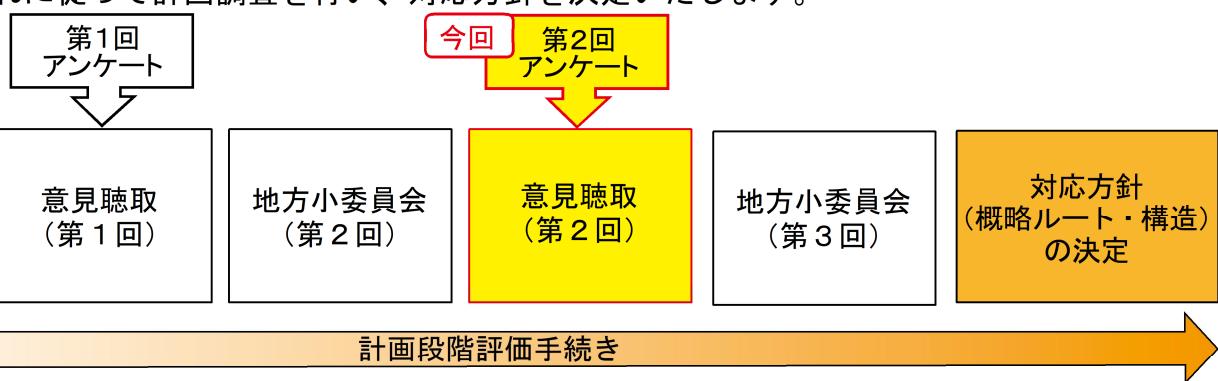
お問合せ先：沖縄総合事務局 北部国道事務所 調査課
TEL：0980-54-2744(受付時間：平日 9~17時)

名護東道路延伸（本部方面）の計画に関する アンケートご協力のお願い



■今後の調査の流れについて（案）

今後、下記の流れに従って計画調査を行い、対応方針を決定いたします。



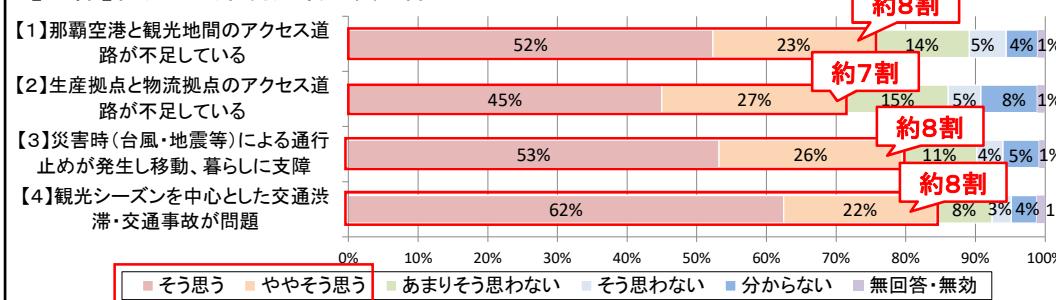
本部半島の現状を以下のとおり整理しました。

分類	課題
地域について	<ul style="list-style-type: none">○那覇空港から観光地へのアクセス向上<ul style="list-style-type: none">・県外からの観光客の玄関口である那覇空港から北部観光地（海洋博記念公園・テーマパーク（予定地））までの一層のアクセス向上が求められる。○北部地域の観光地間の連携強化<ul style="list-style-type: none">・本部港を拠点とした北部地域の主要観光地間の周遊性の向上が求められる。
	<ul style="list-style-type: none">○那覇市～北部地域間の連携強化<ul style="list-style-type: none">・那覇市～北部地域間の連携強化による農産物、生活物資等の輸送の効率化が求められる。
	<ul style="list-style-type: none">○救急搬送、離島振興への寄与<ul style="list-style-type: none">・救命率向上のため、第三次医療施設となる公立沖縄北部医療センターへの救急搬送時間の短縮。・安定した離島への物資運搬による離島振興への寄与
道路について	<ul style="list-style-type: none">○災害に強い道路の確保<ul style="list-style-type: none">・台風、地震時の通行規制等に対応した災害に強い道路の確保が求められる。
	<ul style="list-style-type: none">○北部地域の道路交通の円滑性・安全性の確保<ul style="list-style-type: none">・観光シーズンを中心に市街地にて集中する交通の分散による交通の円滑化・安全性の確保が求められる。

第1回アンケートの結果を以下のとおり整理しました。

交通課題

【全体】住民・道路利用者・観光客

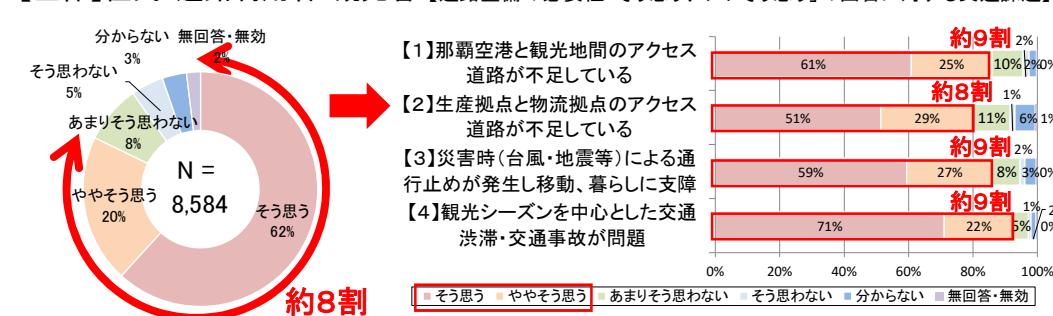


- 【アンケートの主な意見】
- ・各観光エリアへ直結する道が必要だと思います。【名護市/60代以上/会社員】
 - ・本部町、今帰仁村のアクセスを更に便利にする必要がある。これからの観光の発展のためにも必要だと思います。【金武町/20代/公務員】
 - ・観光が多いと思うので、そこに対応する必要あると思う。【千葉県/50代/会社員】
 - ・一次産業(農業、漁業)生産者の物流がスムーズになればいいなと思う。【名護市/60代以上/パート】
 - ・物流アクセス改善の為の高規格道路整備。【国頭村/60代/公務員】
 - ・津波などの災害を考えると海岸沿いに存在しない新たな道路は必要。【名護市/60代以上/会社員】
 - ・台風等災害時の脆弱性が不安。【北中城村/50代/会社員】
 - ・観光シーズンは、特に交通渋滞により通勤が心配である。【本部町/60代以上/会社員】
 - ・観光シーズンに限らず、交通渋滞が増えている。【本部町/50代/会社員】
 - ・観光シーズンでの慢性的な渋滞を改善して欲しい。【那覇市/40代/会社員】
 - ・美ら海水族館への渋滞が大変なので、解消のための道路を検討して欲しい。【神奈川県/50代/会社員】
 - ・公共交通(バス)利用で移動しやすくしてほしい。【名護市/60代以上/無職】

- 【ヒアリングの主な意見】
- ・観光道路と生活道路を分ける工夫が必要。【今帰仁村観光協会】
 - ・既存道路の整備をする事により(物流)の時間を短縮、コストの削減につながるのでは? 休日などは市内など全体的に混んでいるイメージがある。【名護市商工会】
 - ・津波警報が出た際の避難道路が少ない。整備されていない。道路が閉ざされた時の迂回路がない。【本部町観光協会】
 - ・冠水、津波の危険がある海岸沿いのみの道路では不便なため、ルートの多様化が必要。【(一社)沖縄美ら島財団】
 - ・R505号が災害で通行不可になることがあるため、解消に向けて取り組みが必要。【名護市】
 - ・観光シーズンの道路渋滞の改善。【北部広域市町村圏事務組合】
 - ・イベント等があった際の交通渋滞に困っている。【北部地区医師会病院】

道路整備の必要性

【全体】住民・道路利用者・観光客



- 【アンケートの主な意見】
- ・観光地から観光地へのアクセス道路、交通網が不足しているのでは?【今帰仁村/60代以上/無職】
 - ・観光地などへの高速移動がほしい【南風原町/50代/会社員】
 - ・今帰仁城跡、美ら海水族館へのアクセスが便利になれば、もっと沖縄を訪問したいと思います。【神奈川県/60代以上/無職】
 - ・南部(那覇方面)からだけでなく、北部(本部・国頭)方面からの物流ルートの確保を進めてほしい。【名護市/40代/会社員】
 - ・本部町からの名護市への道路網が国道449号、県道84号しかなく、地震等の自然災害時に避難が困難になる。特に県道84号は道路が寸断される恐れがある。【本部町/60代以上/無職】
 - ・災害時、土砂崩れ、倒木などの場合の迂回道路がない【豊見城市/60代以上/無回答】
 - ・最近では観光シーズンに關係なくレンタカーが多く交通渋滞もありますが一番に交通事故が心配です。【本部町/60代以上/無職】
 - ・観光客の多さと渋滞が心配。生活者の視点で道路整備してほしいです【宜野湾市/60代以上/会社員】
 - ・公共交通機関(バス等)の充実、利用促進!!【名護市/30代/自営業】
 - ・ヤングリアができると渋滞が容易に想像できる。早めの整備を【本部町/40代/会社員】
 - ・名護東道路の車線を増やしてほしい。又、東道路後の道も混むので、道路整備をしてほしい。【名護市/30代/会社員】

- 【ヒアリングの主な意見】
- ・本土のように迂回路を設ける。湾岸だけではなく、島の中央を通る路線が必要と思われる。【名護市】
 - ・ヤングリアによる交通渋滞。運天港からの物流の強化。救急医療、安全安心の確保。災害時における道路ネットワーク機能の強化。【今帰仁村】
 - ・車の量、道路の状態が追いついていない? 車の流れ、交通量、道路の大きさなど、既存の道路、新しい道路も並行して考えてほしい。【ジャパンエンターテインメント】
 - ・新たな道路整備は、既存道路も含めて整備を徹底すれば交通安全、渋滞の改善など期待できる。今帰仁村・運輸業】
 - ・既存名護東道路を片側2車線化し、トンネル形状は眼鏡トンネルに。【名護市消防本部】

まとめ

- 第1回沖縄地方小委員会で整理した4つの地域・道路交通の課題に対し、約7割から約8割が「そう思う」、「ややそう思う」と回答しており、想定した課題とアンケート結果が合致。
- 道路整備の必要性について、「そう思う」、「ややそう思う」と約8割が回答。これらの道路整備に肯定的な回答者のうち、前述した4つの課題に対し「そう思う」、「ややそう思う」と約8割から約9割が回答。



政策目標を達成するための機能を有するルートを検討

本部半島における課題解決のための目標を定めました

本部半島において、地域や道路の観点から課題の整理を行い、課題を解決するための政策目標（案）を下記のとおり定めました。

現状と課題①

・那覇空港と観光地間のアクセス道路の不足

本部半島内の道路網が脆弱なため、観光施設間の移動が不便。
あわせて那覇空港や那覇港など交通拠点へのアクセスも時間を要している。



政策目標①: 観光地アクセス・周遊性の向上 (WISENET2050: 観光立国の推進)

現状と課題③

・地域の道路の脆弱性

本部半島では、台風等の災害により、通行止めなどが発生しており、緊急時の救急搬送も懸念。

	災害時の 通行規制発生回数	
	沿岸部の 災害(回)	山間部の 災害(回)
国道449号	12(4)	—
国道505号	13(2)	—
県道84号線	—	8(1)
県道72号線	—	15(1)
県道115号線	—	6

() 内は直近10年間(H25～)での災害発生件数
(出典)地形図:電子国土 災害履歴:沖縄県ヒアリング(S63-R4)



現状と課題②

・生産拠点と物流拠点のアクセス道路の不足

温暖な沖縄県においては、花卉類や果物の栽培も盛んに行われており、北部地域においても主要な産業。
那覇空港や那覇港など物流拠点へのアクセスに時間を要している。



政策目標②：物流の効率化

現状と課題③

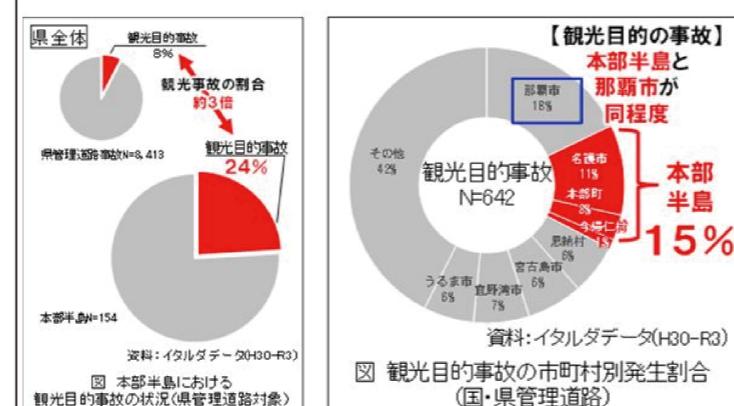
・地域の道路の脆弱性

本部半島では、台風等の災害により、通行止めなどが発生しており、緊急時の救急搬送も懸念。



・観光交通による交通渋滞や交通事故

当該地域は観光交通の割合が多く、交通混雑が発生するとともに、地域に不慣れなレンタカーによる交通事故も多発。



（出典）地形図：電子国土　交通事故：ITARDAデータ（H30-R3）

政策目標③: 災害時も通行できる道路の確保

政策目標④：道路交通環境（渋滞・事故）の改善 (WISENET2050：観光立国の推進)

ルート帯案の検討

○第1回アンケートにおいて「地域の課題」「道路整備の必要性」を確認できたことから、4つの「政策目標」を設定。

- ①観光地アクセス・周遊性の向上
- ②物流の効率化
- ③災害時も通行できる道路の確保
- ④道路交通環境(渋滞・事故)の改善

○政策目標を達成するための機能を有する道路整備の対応方針(ルート帯案)について複数のルート案を設定。

政策目標

- ①観光地アクセス・周遊性の向上
- ②物流の効率化
- ③災害時も通行できる道路の確保
- ④道路交通環境(渋滞・事故)の改善

ルート帯選定のポイント

- ・「交通結節点、観光資源、産業拠点、物流拠点間を広域的にアクセスする道路ネットワーク」を形成できるか
- ・「災害発生時のリダンダンシー代替性」を確保できるか
- ・観光シーズンを中心とした「交通渋滞の緩和、安全性の確保」に貢献できるか

【その他】

- ・沿道からの利便性は確保されているか
- ・工事中の交通規制の影響は少ないか
- ・事業費が大きすぎないか
- ・自然環境への影響は少ないか
- ・沿道家屋への影響は少ないか

自動車専用道路構造

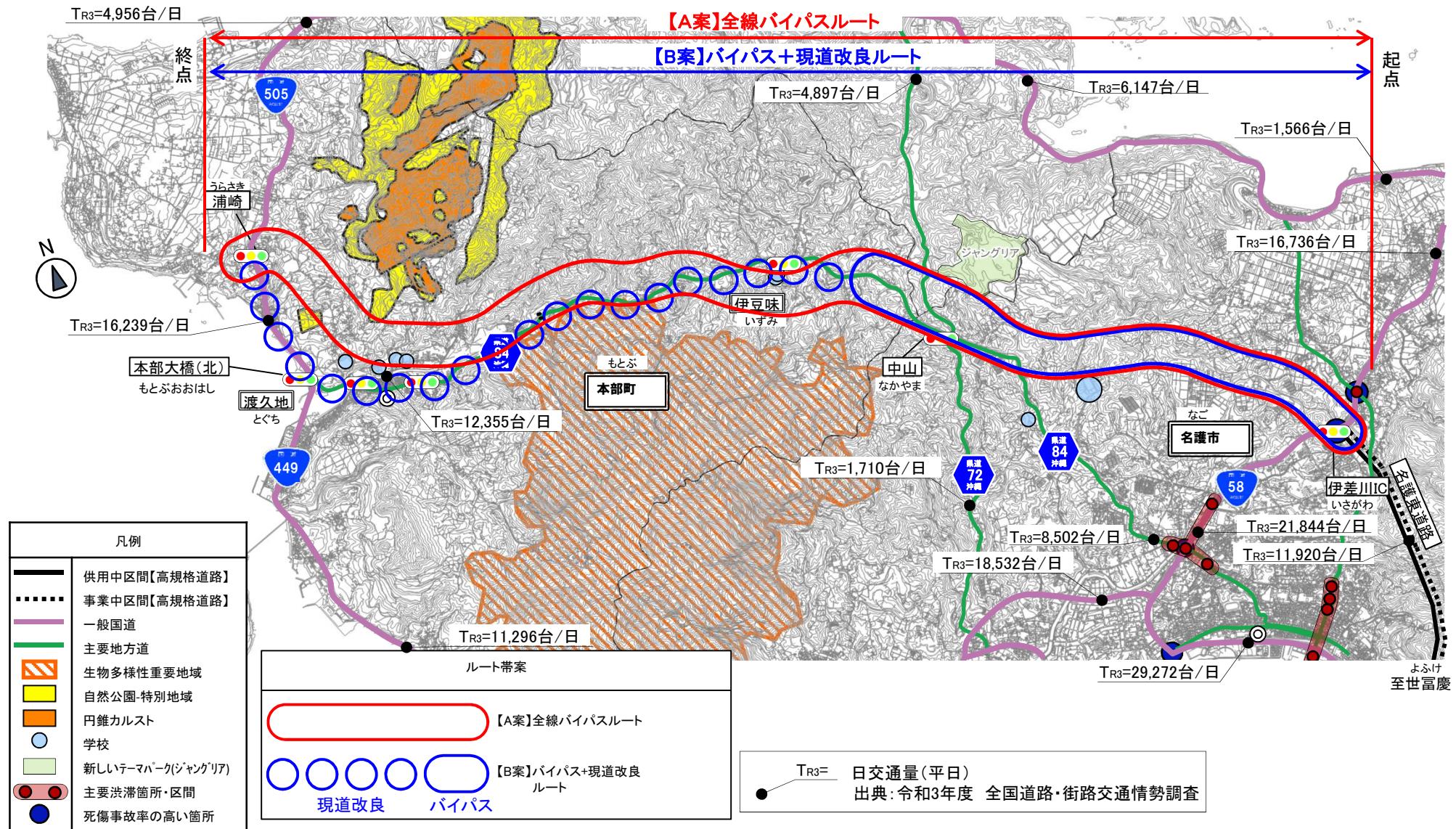
現道改良(4車線)

【A案】
全線バイパスルート

【B案】
バイパス+現道改良ルート

ルート帯案の検討

- A案 全線バイパスルート :名護市伊差川～本部町浦崎(国道449号接続)までバイパス構造
 B案 バイパス+現道改良ルート:名護市伊差川～本部町伊豆味はバイパス構造、本部町伊豆味～本部町浦崎は現道改良構造(県道84号線を2車線から4車線に拡幅、国道449号に接続後は現道である国道449号(4車線)を活用)



ルート案の概要

評価項目	評価指標	【A案】全線バイパスルート		【B案】バイパス+現道改良ルート	
		延長: 約14km (バイパス区間: 10割)	延長: 約15km (バイパス区間: 4割, 現道改良区間: 5割, 現道活用区間: 1割)	延長: 約14km (バイパス区間: 10割)	延長: 約15km (バイパス区間: 4割, 現道改良区間: 5割, 現道活用区間: 1割)
政策目標	観光地アクセス・周遊性の向上	主要観光地へのアクセス性向上	許田IC ⇄ 海洋博記念公園	自動車専用道路の整備に伴い、所要時間が大幅に短縮 (現況に比べ約16.6分短縮) 現況: 43.1分、整備後: 26.5分	現道改良部は車線数が増加するものの、所要時間短縮の効果はA案より低い (現況に比べ約11.9分短縮) 現況: 43.1分、整備後: 31.2分
		北部地域の観光周遊の実現	海洋博公園 ⇄ 新しいテーマパーク(ジャングリア) ⇄ 古宇利島	自動車専用道路の整備に伴い、所要時間が短縮 (現況に比べ約7.9分短縮) 現況: 45.3分、整備後: 37.4分	現道改良部は車線数が増加するものの、所要時間短縮の効果はA案より低い (現況に比べ約2.9分短縮) 現況: 45.3分、整備後: 42.4分
	物流の効率化	集荷場から高速道路までのアクセス性の向上	許田IC ⇄ JAおきなわ本部支店	自動車専用道路の整備に伴い、所要時間が大幅に短縮 (現況に比べ約12.5分短縮) 現況: 36.2分、整備後: 23.7分	現道改良部は車線数が増加するものの、所要時間短縮の効果はA案より低い (現況に比べ約10.9分短縮) 現況: 36.2分、整備後: 25.3分
			JAおきなわ北部営農振興センター ⇄ 本部港	自動車専用道路の整備に伴い、所要時間が短縮 (現況に比べ約12.5分短縮) 現況: 32.9分、整備後: 20.4分	現道改良部は車線数が増加するものの、所要時間短縮の効果はA案より低い (現況に比べ約10.9分短縮) 現況: 32.9分、整備後: 22.0分
	災害時も通行できる道路の確保	災害時の代替路機能		全線バイパス整備により代替路が確保される	バイパス区間については代替路が確保される 現道改良区間、現道活用区間については代替路は確保されない
道路整備による影響	道路交通環境(渋滞・事故)の改善	主要渋滞箇所・死傷事故率の高い箇所の回避	レンタカーも含め白銀橋(東)交差点や名護市街地の主要渋滞箇所や死傷事故率の高い箇所を回避できる。	レンタカーも含め白銀橋(東)交差点や名護市街地の主要渋滞箇所や死傷事故率の高い箇所を回避できる。	
		交通量の変化	並行する県道84号線や国道449号等から名護東道路延伸(本部方面)に交通量が転換し、並行する道路の混雑が緩和する。	バイパス区間では、並行する県道84号線や国道449号から名護東道路延伸(本部方面)に交通量が転換し、並行する道路の混雑が緩和する。ただし、現道拡幅区間、現道活用区間は交通が集中する。	
	利便性	沿道へのアクセス	自動車専用道路のため、ICからのアクセスのみとなる。	既存集落に近く利便性がよい。	
	自然環境	重要な動物の生息地、重要な植物の生育地、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境への影響※	自然環境に配慮し、改変は極力抑えるが全線バイパス整備のため、B案に比べて大きい	現道改良部・現道活用部では、自然環境の改変はA案に比べて少ない	
	工事の影響	現道交通及び周辺への影響	現道での施工は接続部のみであり、影響は少ない	施工時に比較的長い区間で交通規制が必要となるため、現道交通への影響は大きい	
沿道への影響	既存集落への影響		全線バイパス整備により、現道沿いの集落を回避するため、B案に比べて影響は少ない	現道改良区間は、現道を拡幅するため、集落への影響はA案に比べて大きい	
	事業費	700～800億円	600～700億円		

※A案・B案の両案とも沖縄県環境影響評価条例に基づき環境影響評価を実施し、沖縄県自然環境再生指針も踏まえるなど環境に配慮しながら事業を進める。

名護東道路延伸（本部方面）の計画に関する アンケート調査票

同封の説明資料をご確認頂き、各設問に対し、お答え下さい。

ご回答についてお聞きします。以下に示す項目について、あてはまる番号を1つ選び、回答欄に○を付けてお答えください。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」の欄に具体的な内容をご記入ください。

年齢: 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代以上

職業: 1. 学生 2. 会社員 3. 公務員 4. 自営業 5. 無職 6. その他()

住所: 沖縄県()市・町・村 / 字()

運転免許の有無: 1. 保有している 2. 保有していない

問1 本部半島にある主な道路(名護東道路、国道58号、国道449号、国道505号、県道84号線)の利用頻度

本部半島にある主な道路(名護東道路、国道58号、国道449号、国道505号、県道84号線)の利用頻度について、あてはまる番号を1つ選び、回答欄に○を付けてお答えください。

1. 毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. ほとんど利用しない 5. 利用したことがない

問2～問4は、問1で1～4と回答された方にお聞きします。

問2 本部半島にある主な道路(名護東道路、国道58号、国道449号、国道505号、県道84号線)の移動手段

本部半島にある主な道路(名護東道路、国道58号、国道449号、国道505号、県道84号線)の移動手段について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に○を付けてお答えください(複数回答可)。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」の欄に具体的な内容をご記入ください。

1. 自動車 2. バイク 3. 自転車 4. バス 5. 徒歩 6. その他()

問3 本部半島にある主な道路(名護東道路、国道58号、国道449号、国道505号、県道84号線)の利用目的

本部半島にある主な道路(名護東道路、国道58号、国道449号、国道505号、県道84号線)の主な利用目的について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に○を付けてお答えください(複数回答可)。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」の欄に具体的な内容をご記入ください。

1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 私用(日常的な買物・食事等) 5. 仕事(営業・運送)
6. その他()

問4 本部半島にある主な道路(名護東道路、国道58号、国道449号、国道505号、県道84号線)利用の出発地、目的地、利用時間帯

本部半島にある主な道路(名護東道路、国道58号、国道449号、国道505号、県道84号線)をご利用される際の主な出発地、目的地、時間帯についてお答え下さい。

出発地()市・町・村 目的地()市・町・村
主な利用時間帯(時台)

問5 第1回意見聴取結果の妥当性

問5-1:あなたは第1回意見聴取(R6.4～7調査実施)に回答されましたか？あてはまる番号を1つ選び、回答欄に○を付けてお答えください。

1. 回答した 2. 回答していない

問5-2:別紙に示すアンケート結果について、あなたは妥当だと思いますか？あてはまる番号を1つ選び、回答欄に○を付けてお答えください。

1. 妥当だと思う 2. どちらかといえば妥当だと思う 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば妥当だと思わない 5. 妥当だと思わない

問5-3:「問5-2」で「どちらかといえば妥当だと思わない」「妥当だと思わない」と回答された方にお聞きします。妥当だと思わない理由を以下の回答欄にできるだけ具体的に記入し、お答えください。

アンケート調査票

問5-4:別紙に示す第1回意見聴取結果について、渋滞するという意見が多数見られました。あなたが思う渋滞する路線について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に○を付けてお答えください(複数回答可)。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」の欄に具体的な内容をご記入ください。

- | | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 名護東道路 | 2. 国道58号 | 3. 国道449号 | 4. 国道505号 | 5. 県道84号線 |
| 6. その他() | | | | |

問6 道路整備の対応方針に重視する項目

問6-1:今回、本部半島に道路整備を検討する上で、重視する項目について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に○を付けてお答えください(複数回答可)。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 交通拠点(空港・港湾)・主要観光地間の移動時間が短縮 |
| 2. 北部地域の観光施設間の移動時間が短縮 |
| 3. 物流拠点(集荷場)から高速道路までの移動時間が短縮 |
| 4. 災害時の代替機能の確保 |
| 5. 観光シーズンを中心とした交通渋滞の緩和・交通事故の低減 |
| 6. 沿道へ自由にアクセスできる |
| 7. 自然環境(動物、植物等)への影響が少ない。 |
| 8. 施工による現道交通への影響が少ない。 |
| 9. 道路整備により影響する家屋が少ない |
| 10. 事業費(コスト)が安い |

問6-2:「問6-1」で示した項目以外で、重視する項目があれば、内容を以下の回答欄にできるだけ具体的に記入し、お答えください。

問7 インターチェンジの設置を検討する際に配慮すべき事項

問7-1:インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか。あてはまる番号を全て選び、回答欄に○を付けてお答えください(複数回答可)。

- | |
|----------------------|
| 1. 市街地や居住地からアクセスしやすい |
| 2. 市役所・町役場からアクセスしやすい |
| 3. 物流拠点からアクセスしやすい |
| 4. 主要観光地からアクセスしやすい |

問7-2:「問7-1」で示した項目以外で、インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に、配慮すべき項目があれば、内容を以下の回答欄にできるだけ具体的に記入し、お答えください。

問8 その他のご意見・ご要望

道路整備やその他渋滞、景観、交通安全、観光など、ご意見・ご要望がありましたらお答えください。

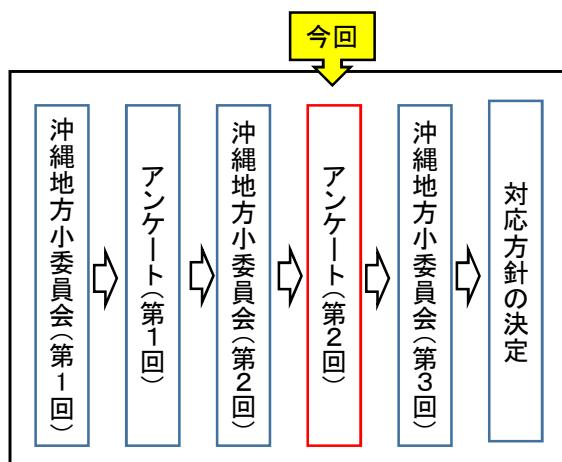
～アンケート調査は以上で終了です。ご理解ご協力頂き、誠に有難うございました～
記入済みの調査票は、同封する封筒に入れ、令和6年12月27日までに、
お近くの郵便ポストに投函していただきますよう宜しくお願ひします。

■アンケートについて(第2回アンケート)

1)アンケートの目的について

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、アンケート調査を実施します。

本アンケートは、名護東道路延伸（本部方面）の様々な課題に対応する計画策定にあたり、地域の皆さまのご意見をお聞かせ頂くための第2回目のアンケートとなります。



2)アンケートの回答方法について

- ◇アンケート調査資料は、対象者に郵送配布しています。
- ◇世帯のうち代表の方がご回答ください（世帯主である必要はありません）。
- ◇アンケートご記入の際は、同封する資料をお読みいただきご記入ください。
- ◇アンケートの回答は郵送による回答とインターネットによる回答があります。

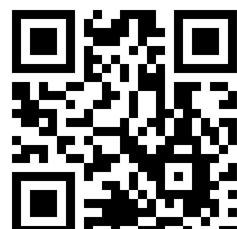
①郵送による回答(調査対象者へ郵送配布する調査票(紙)による回答)

記入済みの調査票は、同封する封筒に入れ、令和6年12月27日までに、お近くの郵便ポストに投函していただきますよう、お願いします。

②インターネットによる回答

QRコードより

スマートフォン、タブレットをお持ちの方は下記のQRコードからアクセスできます。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

北部国道事務所
ホームページから

パソコン、スマートフォン、タブレットをお持ちの方は北部国道事務所ホームページより、アンケートページにアクセスしてください。

▼北部国道事務所・アンケートページURL

https://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/press/2024/240430/m_web_q.html